

市民生活部 マネジメント方針

市民生活部では市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を定めました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

令和4年4月1日

市民生活部長
廣瀬峰雄



【基本方針】

市民の総合窓口として更なる利便性の向上を目指し、窓口電子化の推進に向けて、効率的で多様なニーズに対応できる窓口サービスを提供します。

幅広く市民の意見の聴取に努め、市の施策立案や事業の実施等に活かします。

市民が安全安心な消費生活を送ることができるよう、消費者行政の推進に努めます。

ボランティア活動のきっかけづくりやニーズに応じた支援を行い、市民の力を多様で継続的なボランティア活動につなげます。また、市民、市民活動団体と行政が連携し、共通の目標に向かって成果と責任を共有しあう市民協働のまちづくりを進めます。

環境にやさしい持続可能なまちづくりを目指し、自然環境や生活環境の保全、廃棄物の減量や適正処理、環境教育の充実など各種施策に引き続き取り組みます。

特に、ゼロカーボンシティの実現に向けては、環境配慮指針の取組を推進するとともに本市における再生可能エネルギーの導入の現状や今後の可能性等の調査を行います。

また、安定したごみ処理を継続するため、令和8年度の稼働開始に向け、環境にやさしく、安全で災害に強い新ごみ処理施設の整備にあたっては、地元の意見を丁寧に聞きながら着実に進めます。



市民の安全・安心については、コロナ禍における自然災害の発生や犯罪等に備え、市民、市民組織、事業者、他自治体と連携し、被害の軽減と支援体制の充実を図り、市民の生命・身体・財産を守ります。

【組織目標】

- I. 市民の利便性向上のため、効率的で多様なニーズに対応できる窓口サービスを提供します
- II. 市民が主体となるまちづくりを推進するため、広く市民の提言等を市政に反映します
- III. 消費者行政の充実を図り、安全安心な消費生活を支えます
- IV. ボランティアの力を高め市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進めます
- V. ゼロカーボンシティの実現に向けた司令塔としての役割を果たすとともに、豊かな自然環境や良好な生活環境の保全、廃棄物の減量や適正処理等の取組を推進します
<危機管理局担当>
- VI. 地震、津波、大雪などの災害や犯罪等に対して、市民、市民組織、事業者、行政が連携し、被害の軽減と支援体制の充実を図り、市民の生命・身体・財産を守ります

【行動目標】

組織目標 I 市民の利便性向上のため、効率的で多様なニーズに対応できる窓口サービスを提供します

行動目標	SDGs 指標
<p>1 窓口サービスの向上 DX</p> <p>マイナンバーカードの休日・時間外窓口の開設や、企業・団体等に加え、大型商業施設でも定期的に出張申請受付を実施するなど、市民の利便性を高め、サービスの向上を図ります。併せて、高校生以下の青少年を対象とした取組を進め、更なるカードの申請者数の増加に努めます。</p> <p>また、デジタル化の進展による決済手段の多様化に対応するため、市民課窓口での各種証明書発行手数料の支払いについて、キャッシュレス決済サービスを導入し、窓口サービスの向上を図ります。</p> <p>その他、住民基本台帳システムを改修することにより、マイナンバーカード所持者がマイナポータルから転出届・転入予約を行い、あらかじめ通知された転出情報から転入地市区町村が事前準備を行うことで、転出・転入手続の時間短縮・ワンストップ化を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>マイナンバーカード申請件数 : 30,004 件 (3 年度) → 31,000 件 (4 年度)</p><p>キャッシュレス決済サービスの導入 : 9 月</p><p>転出・転入手続ワンストップ開始 : 3 月</p></div>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>

組織目標Ⅱ 市民が主体となるまちづくりを推進するため、広く市民の提言等を市政に反映します

行動目標

SDGs 指標

2 市民意見募集の推進

市民の意見を幅広く聴取し、各所属における取組の参考とするため、スマホ等から気軽に回答できるインターネットアンケート「ふくeアンケート」を実施します。より多くの方に協力していただけるよう、チラシの全戸回覧のほか、公共施設等でのチラシの掲示、公式LINEや各所属のSNSを通じた周知、イベント会場でのPRなど、積極的な広報活動を通じて、回答数の増に取り組めます。

また、市の重要な施策について市民から広く意見を募集する「パブリック・コメント制度」を運用するとともに、市の施策について市民に説明する「市政出前講座」、市民の意見や提案を市民ポスト・メール・電話等で広く受け付ける「フェニックス通信」を実施し、広聴の充実を図ります。





「ふくeアンケート」平均回答数（※）：771件（3年度）→1,000件（4年度）

※ 1年間に実施したアンケートの平均回答数（総回答数／実施回数）





組織目標Ⅲ 消費者行政の充実を図り、安全安心な消費生活を支えます

行動目標	SDGs 指標
<p>3 消費者行政の推進</p> <p>複雑多岐に亘る消費生活相談に的確に対処し、市民が安全安心な消費生活を送ることができるよう、解決力を強化します。</p> <p>また、消費者トラブルに遭わない「かしこい消費者」を育成するため、あらゆる年代層に対し、幅広く消費者啓発を推進します。</p> <div data-bbox="248 629 1268 734" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>③38 消費生活相談の解決率 : 99.1% (※) 各種消費者講座実施回数 : 30回 (3年度) → 35回以上 (4年度)</p></div> <div data-bbox="480 786 999 1173" style="text-align: center;"></div> <p style="text-align: center;">消費者講座（くらしの講座）の様子</p> <p>※ 消費生活相談の解決率（相談件数 - 斡旋不調・処理不能件数）/相談件数×100 令和3年度実績 （1,521件 - 14件）/1,521件×100=99.1%</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 

組織目標Ⅳ ボランティアの力を高め市民と行政が力を合わせる協働のまちづくりを進めます

行動目標	SDGs 指標
<p>4 市民と行政との協働によるまちづくりの推進</p> <p>市民、市民活動団体等と市が連携し、共通の目標のため、対等な立場で努力し、その成果と責任を共有し合う協働のまちづくりを進めます。</p> <p>また、ふくい市民活動基金助成事業（※）をきっかけとして、新たな協働事業の創出に努めます。</p> <p>助成事業の財源となる「ふくい市民活動基金」については、市民及び事業者に基金への協力を呼び掛けます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>市が市民活動団体等との協働に取り組む事業数 : 100件（3年度）→110件（4年度）</p> <p>「ふくい市民活動基金」寄附件数 : 97件（3年度）→100件（4年度）</p> </div> <p>※ 「福井市市民協働の推進及び非営利公益市民活動の促進に関する条例」に規定される市民活動を促進するための基金による助成事業</p>	 
<p>5 ボランティア活動の支援</p> <p>総合ボランティアセンターを拠点に、コーディネーターが中心となって、ボランティアに関する情報提供、活動相談、セミナーや体験講座を充実させ、実際の活動や継続的な活動に結びつけます。</p> <p>災害時に災害ボランティアセンターを円滑に設置、運営するため、平時から関係機関や団体と連携を深め、実践的な訓練や研修などを通してセンターの運営能力やボランティアの受入れ技術の向上を目指します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>②3 ボランティア講座受講者数 : 302人（3年度）→ 310人（4年度）</p> <p>災害ボランティアセンター運営訓練等実施回数 : 5回</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>ボランティア講座受講の様子</p> </div>	 

組織目標 V ゼロカーボンシティの実現に向けた司令塔としての役割を果たすとともに、豊かな自然環境や良好な生活環境の保全、廃棄物の減量や適正処理等の取組を推進します

行動目標	SDGs 指標
<p>6 新 ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の推進 ゼロカーボン</p> <p>2050年のゼロカーボンシティ(※1) 実現を見据え、再生可能エネルギーの利用促進に関する目標等を設定するための調査事業を実施します。</p> <p>また、日常生活での自発的な温暖化対策を促す COOL CHOICE(※2) FUKUI 事業を進めます。</p> <p>さらに、あらゆる事務事業で温室効果ガス排出量の削減又は吸収の取組が推進されるよう、部局を横断した進捗管理や助言等を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>再生可能エネルギーの利用可能量等に係る基礎調査</p> <p>総 30 温室効果ガス排出量 (CO₂ 換算値)</p> <p style="margin-left: 20px;">: 2,171 千 t-CO₂ (元年度)</p> <p style="margin-left: 40px;">→ 2,134 千 t-CO₂ (2 年度) ※3</p> <p style="margin-left: 40px;">→ 2,098 千 t-CO₂ (3 年度) ※3</p> <p style="margin-left: 40px;">→ 2,063 千 t-CO₂ (4 年度)</p> <p>市有施設におけるエネルギー使用量</p> <p style="margin-left: 20px;">電気: 58,574 千 kWh (3 年度見込み) → 57,988 千 kWh (4 年度)</p> <p style="margin-left: 20px;">ガソリン: 148,601 リットル (3 年度) → 147,115 リットル (4 年度)</p> <p>ゼロカーボンシティに関する出張啓発活動回数</p> <p style="margin-left: 20px;">: 4 回 (3 年度) → 8 回 (4 年度)</p> </div> <p>※1 ゼロカーボンシティ 2050 年に、CO₂ などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量から、森林等による吸収量を差し引いて、排出量を実質ゼロにすることを宣言した自治体</p> <p>※2 COOL CHOICE (クールチョイス) (賢い選択) 省エネ・低炭素型製品やサービスなど地球温暖化防止につながる行動を促す国民運動</p> <p>※3 温室効果ガス排出量の公表 「都道府県エネルギー消費統計」による暫定値の公表が 2 年後となるため、令和 2 年度と令和 3 年度は確定前の目標値</p>	<p>SDGs 指標</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> <div>  <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>

行動目標

SDGs 指標

7 自然環境保全の取組と環境教育の拡充

本市の豊かな自然を守り、次の世代に伝えていくため、地域住民等の自然保護活動を支援するとともに、環境ボランティアとの協働を推進していきます。

また、市民一人ひとりが環境について自ら学び、考え、行動できるきっかけとなるよう、環境学習講座を開催します。

- ③2 環境ボランティア(福井市自然ファンクラブ)制度登録者数(累計)
: 263人(3年度) → 310人(4年度)
- ③3 環境に関する講座参加者数
: 1,985人(3年度) → 2,200人以上(4年度)



竹林整備の様子



環境に関する講座の様子



行動目標	SDGs 指標
<p>8 ごみの発生抑制、資源としての活用 ゼロカーボン</p> <p>環境にやさしい持続可能なまちづくりを目指し、3R（リデュース【排出抑制】、リユース【再使用】、リサイクル【再生利用】）を推進していくため、ごみの発生抑制と資源化の啓発活動に取り組みます。</p> <p>プラスチックごみの発生抑制や食品ロス（※1）の削減、紙資源の有効利用に向けた雑がみの回収促進等について、出前講座の開催やイベントでの出展、SNSなど様々な手段を活用した啓発を行います。</p> <p>また、令和元年度より開始したフードドライブ（※2）を、事業者との連携を図りながら実施します。</p> <p>マル優エコ事業所（※3）については、企業に登録を呼びかけ、新規登録企業増に努めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>1人1日当たりのごみ排出量 ： 861g（3年度見込み）→857g（4年度）</p> <p>可燃ごみ混入資源物の割合（※4）： 22.7%（3年度）→21.8%（4年度）</p> <p>フードドライブ実施回数 ： 3回（3年度）→4回（4年度）</p> <p>マル優エコ事業所登録数 ： 57社（3年度）→61社（4年度）</p> </div> <p>※1 食品ロス 手つかず食品や食べ残しなど、食べられる状態であるにもかかわらず廃棄される食品</p> <p>※2 フードドライブ 食品ロス対策のひとつとして、家庭で余っている食品を持ち寄り、必要としている福祉関係団体などへ寄付する活動</p> <p>※3 マル優エコ事業所 福井市内で事業系一般廃棄物の削減等に積極的に取り組む事業所を「ふくいマル優エコ事業所」として認定し、その活動を広く他の事業所へ広報することにより、ごみ削減の取組を推進する制度</p> <p>※4 可燃ごみ混入資源物の割合 サンプル調査による可燃ごみ混入資源物の割合</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="349 1615 826 1966" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="882 1592 1165 1989" data-label="Image"> </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> フードドライブで集まった食品 マル優エコ事業所認定証 </p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div data-bbox="1305 412 1444 546" style="background-color: #f9a825; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div data-bbox="1305 562 1444 696" style="background-color: #1f4e79; color: white; padding: 5px;"> <p>17 パートナリーシップで 目標を達成しよう</p> </div> </div>

行動目標

SDGs 指標

9 新ごみ処理施設整備事業 **ゼロカーボン**

安定したごみ処理を継続するため、新ごみ処理施設の令和8年度稼働開始に向けて、整備運営事業の実施設計に着手します。また、令和3年度から進めている調整池整備工事を完成させます。

さらに、立地地区の理解を深めるため、意見交換や説明を行います。

施設整備・運営事業の実施設計（土木建築）の完了



調整池整備工事の完成 : 9月

立地地区における意見交換や説明の実施 : 5回



新ごみ処理施設周辺イメージ図



行動目標	SDGs 指標
<p>10 良好な生活環境の保全と廃棄物の適正処理の推進</p> <p>大気・水質等の環境調査を継続して実施するとともに、ばい煙発生施設や排水規制事業場への立入調査・指導を行い、良好な生活環境の保全を図っていきます。また、事業者の公害の未然防止に係る意識向上のため、企業向け研修会を行うなど、積極的に啓発に取り組みます。</p> <p>廃棄物の適正処理については、廃棄物処理業者、排出者等への指導・監督を引き続き行うとともに、啓発やパトロール等による不法投棄及び不法焼却の抑制に努めます。特に、排出者への指導に係る新たな取組として、廃棄物の適正処理や減量等の促進を目的とする、企業へのアドバイザー派遣事業に着手します。</p> <p>また、PCB 廃棄物については、環境省や処理機関等と連携し確実な処分手続きにつなげ、高濃度 PCB 廃棄物等が市内に残置されないことがないよう、期限内処分(※1)に向けて取組を進めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>③1 大気、水質（河川・海域）における環境基準達成率（※2）： 100% 企業向け研修会参加社数（累計）：93社（3年度）→ 113社（4年度）</p> </div> <p>※1 PCB（ポリ塩化ビフェニル化合物）廃棄物の処分期限 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき定められた福井県における高濃度 PCB 廃棄物の処分期限 変圧器、コンデンサ：令和4年3月31日、安定器等：令和5年3月31日 変圧器、コンデンサについては処分期限を迎えたことから、令和4年度は措置命令の発出や行政代執行による処分等を行う期間</p> <p>※2 環境基準達成率 大気：達成観測局数／市内全観測局数×100 令和4年度目標：3局／3局×100=100% 水質（河川）：達成河川数／環境基準が設定されている市内河川数 令和4年度目標：7河川／7河川×100=100% 水質（海域）：達成海域数／環境基準が設定されている市内海域数 令和4年度目標：4海域／4海域×100=100%</p>	 

組織目標VI 地震、津波、大雪などの災害や犯罪等に対して、市民、市民組織、事業者、行政が連携し、被害の軽減と支援体制の充実を図り、市民の生命・身体・財産を守ります

行動目標	SDGs 指標						
<p>1.1 実践的・広域的な防災訓練等の実施</p> <p>災害の規模や状況、応急対策や対応方針について情報の一元化と共有化を図るため、市及び関係機関との連携訓練を実施するほか、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所開設訓練を実施します。さらに被災市町のみでは十分な応急対策ができない場合に備え、連携中枢都市圏域の市町や災害時応援協定を締結している民間事業者等と連携強化を目的とした研修や訓練を実施します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">防災訓練等の実施（職員防災訓練等、原子力防災訓練、災害時応援協定締結事業者との連携訓練）</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">： 15回</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自主防災組織を対象とした研修会の開催</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">： 3回</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">連携中枢都市圏域の研修会の開催 （職員研修2回、自主防災組織リーダー研修1回）</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">： 3回</td> </tr> </table> </div>	防災訓練等の実施（職員防災訓練等、原子力防災訓練、災害時応援協定締結事業者との連携訓練）	： 15回	自主防災組織を対象とした研修会の開催	： 3回	連携中枢都市圏域の研修会の開催 （職員研修2回、自主防災組織リーダー研修1回）	： 3回	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  </div> <div>  </div> </div>
防災訓練等の実施（職員防災訓練等、原子力防災訓練、災害時応援協定締結事業者との連携訓練）	： 15回						
自主防災組織を対象とした研修会の開催	： 3回						
連携中枢都市圏域の研修会の開催 （職員研修2回、自主防災組織リーダー研修1回）	： 3回						
<p>1.2 災害時の避難支援体制の充実</p> <p>大規模災害時において水洗トイレが使用不能になる場合を想定し、断水時にも使用可能な公共下水道接続型のマンホールトイレを整備します。</p> <p>また、避難行動要支援者の個別避難計画について、出前講座等を通じ自治会や自主防災組織に対し制度への理解と計画作成を促します。新たに優先度の高い避難行動要支援者(※)の計画作成を推進するため、地区を選定しモデル事業を実施します。実施地区では、庁内の関係部局、自治会や福祉専門職等と連携し、本人の心身の状況や地域の実情を踏まえた実効性のある個別避難計画の作成を推進します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">災害時マンホールトイレの設置箇所数(累計)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">：</td> <td style="padding: 2px;">22カ所（3年度） → 25カ所（4年度）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">優先度の高い個別避難計画作成の推進モデル地区数</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">：</td> <td style="padding: 2px;">4地区</td> </tr> </table> </div> <p style="margin-top: 10px;">※ 浸水等の災害リスクがあり、要介護認定5又は3、4かつ一人暮らし登録者等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>災害時マンホールトイレ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>避難行動要支援者の避難訓練</p> </div> </div>	災害時マンホールトイレの設置箇所数(累計)	：	22カ所（3年度） → 25カ所（4年度）	優先度の高い個別避難計画作成の推進モデル地区数	：	4地区	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  </div> <div>  </div> </div>
災害時マンホールトイレの設置箇所数(累計)	：	22カ所（3年度） → 25カ所（4年度）					
優先度の高い個別避難計画作成の推進モデル地区数	：	4地区					

行動目標	SDGs 指標
<p>13 災害時における民間企業等との連携強化</p> <p>災害時の市民の一層の安全安心を確保するため、様々な業種の民間企業等との間で連携強化に向けて取り組み、本市の災害対応力の強化推進を図ります。</p> <p>また、災害時の一時的な避難場所の提供について、地域と民間企業等との協定締結を支援します。</p> <div data-bbox="252 672 1268 862" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>民間企業等との災害時応援協定の締結数（累計）： 48件（3年度）→54件（4年度）</p> <p>③4 地域と民間企業等との災害時応援協定の締結数（累計）： 17件（3年度）→23件（4年度）</p> </div> <div data-bbox="373 896 751 1178">  </div> <div data-bbox="783 896 1161 1178">  </div> <p style="text-align: center;">災害時応援協定締結式の様子</p>	<div data-bbox="1305 405 1445 539"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div data-bbox="1305 560 1445 694"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  </div>
<p>14 防犯活動の支援</p> <p>住民の防犯意識の高揚と犯罪の未然防止を図るため、福井市防犯隊による防犯パトロールや子どもの見守り活動を実施し、地域ぐるみで安全・安心なまちづくりの推進に努めます。</p> <p>また、社会全体の高齢化、人口減少により、通学路や高齢者等の生活を見守る地域の目が少なくなっているため、プライバシーに対する住民の理解や協力を得ながら、地域の防犯力向上を目的に防犯カメラを設置します。</p> <div data-bbox="252 1608 1268 1798" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>③7 千人当たりの刑法犯認知件数（※）：5.20件以下</p> <p>防犯パトロール実施回数： 1,421回（3年度）→1,540回（4年度）</p> <p>防犯カメラの設置地区数：2地区</p> </div> <p>※ 当年1月から12月までの市内の刑法犯認知件数/当年10月1日の人口×1,000</p>	<div data-bbox="1305 1301 1445 1435"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div data-bbox="1305 1456 1445 1590"> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  </div>

